

## 《教育プログラムについて》

### 教育・研修制度

きづ川病院看護部では次のような教育・研修制度を設けています。

- ・新採用看護職員研修（合同研修・看護部研修）
  - ・接遇マナー研修（院内・院外）
  - ・BLS研修（全職員対象）
  - ・ICLS研修（木津川流れ橋コース）
  - ・新人研修・プリセプター研修
  - ・卒後研修 1・2・3・4・5年以上（院内・院外）
  - ・ケアワーカー（看護助手）研修
  - ・管理者研修
  - ・看護部教育アドバイザーによる院内研修
  - ・認定及び専門看護師取得に対しての支援
- （大阪市立大学医学部看護学科特任教授）

## 《看護部教育計画》

経年別	レベル	到達目標	研修内容
1年目 (新人)	I	1. ①日常生活援助の基本技術を身につけベッドサイドケアが安全にできる ②受け持ち患者のケアを通して看護の知識が深められる 2. チームメンバーの役割を果たす 3. 院内研修に参加する 4. 社会人・職業人としての自覚がもてる	新採用者研修 ローテーション研修 基礎看護技術研修 フォローアップ研修 (3か月・6か月) BLS研修
2年目	II	1. チームメンバーの一人として看護実践ができる 2. 上司・先輩の指導のもと看護展開ができる 3. 専門職業人・社会人として行動ができる	看護技術研修 メンバーシップ研修 ステップアップ研修
3年目	III	1. 後輩に指導的な立場に関わることができる 2. 上司・先輩の指導のもと自ら考え行動できる 3. 上司の指示のもと関係部署や他職種と協同し看護業務が自立的に実践できる 4. 看護研究を通して看護を深める	看護技術研修 リーダーシップ研修 プリセプター研修 看護研究 感染管理研修
4～8年目	IV	1. 所属部署でのリーダーシップがとれる 2. チームリーダーとして師長・主任への協力と情報提供、相談、下位への指導ができる 3. 委員会活動に積極的に参加できる	リーダーシップ研修 看護倫理 看護研究 退院支援
9年目以上	V	1. 組織人・社会人・専門職業人として役割モデルとなれる 2. 看護実践において専門性を発揮できる 3. 病棟管理者の補佐ができるよう状況に応じた行動ができる 4. 看護部門及び院内の取り組みに参画し活動できる 5. 看護職員の人材育成に協力し、育成能力を身につける	退院支援 接遇研修 医療安全研修 管理者研修

職種別	役職別	役割別	看護師 全体型	病院 全体型
准看護師研修 ケアワーカー研修	師長研修 主任研修	臨床指導者研修 プリセプター研修 看護研究グループ研修 教育委員研修	チャート研修 NST 研修 身体拘束研修	医療安全研修 転倒転落研修 院内感染対策研修